

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Ref. 12

⑤日本分類
92(5)A 412.2
92(5)A 52

⑩ 日本国特許庁
公開実用新案公報

⑪ 実開昭49-88512

庁内整理番号 6410-34
7018-34

⑬ 公開 昭49(1974)・8・1

審査請求 有

⑭ 自動絨毯クリーニング装置

① 実 願 昭47-139181
② 出 願 昭47(1972)12月5日
③ 考 案 者 出願人に同じ
④ 出 願 人 海野博明
富士市松岡166
⑤ 代 理 人 弁理士 中畑孝

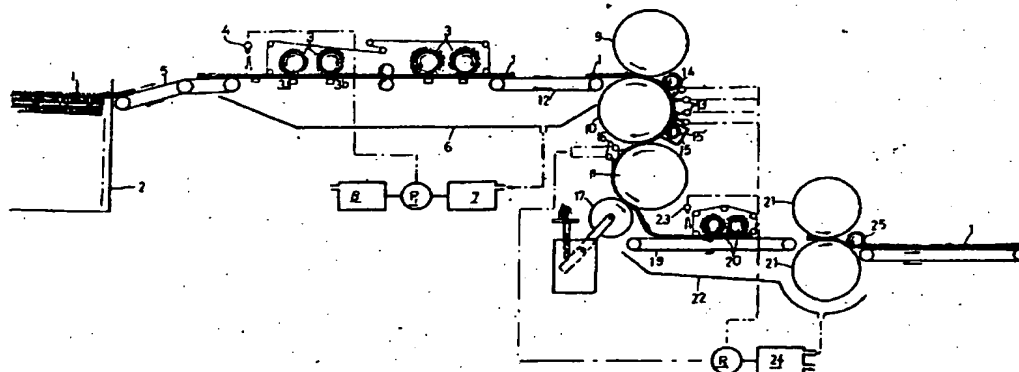
⑯ 実用新案登録請求の範囲

絨毯をロールの周りに巻回するように案内して

その植毛及び織目を充分に開かせ、該ロールへの巻回外周部に設けた洗滌装置により開拡された植毛及び織目に向け洗滌するようにした自動絨毯クリーニング装置。

図面の簡単な説明

図面は本考案の要部構成の一実施例を説明する側面図である。1……絨毯、3, 14, 20……ブラシロール、9, 10, 11……洗滌ロール、14, 13, 15, 15'……洗滌ロール附属のブラシロール、清水又はエヤーノズル、ブラシロール付吸引箱などの洗滌装置。





(1.50014)

実用新案登録願

昭和 47 年 12 月 5 日

特許庁長官 三 宅 幸 夫 殿

1. 考案の名称 ^{ソノソノソノソノ}
自動減速タリーニング装置

2. 考案者

住 所
氏 名 実用新案登録出願人と同じ

3. 実用新案登録出願人 ^{フ ジン マツ タカ}

住 所 静岡県富士市松岡 1 6 6
氏 名 海 野 博 明
(国 籍)

4. 代 理 人 千 1 0 5

住 所 東京都港区芝西久保明舟町 9 岡ビル 3 階
氏 名 (7032) 弁護士 中 畑 孝
電話 東京 591-1065

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書	1 通
(2) 図 面	1 通
(3) 願書副本	1 通
(4) 委任状	1 通
(5) 出願審査請求書	1 通



47 13918:

明 細 書

1 考案の名称

自動絨毯クリーニング装置

2 実用新案登録請求の範囲

絨毯をロールの周りに巻回するように案内してその植毛及び織目を十分に開かせ、該ロールへの巻回外周部に設けた洗滌装置により開拡された植毛及び織目に向け洗滌するようにした自動絨毯クリーニング装置。

3 考案の詳細な説明

この考案は絨毯の自動クリーニング装置に関する。絨毯のクリーニングは現在手動操作のブラッシング装置で行なわれているのが実情であり、有効な全自動クリーニング機械の出現を見ていない。

これは絨毯の汚れが地が厚く扱いにくいことも手伝って自動的にクリーニングすることが困難で且つ装置が大掛りとなり、コストの面で引き合わないという問題が解決されないためである。

本考案は地の厚い絨毯を極めて簡単な着想装置にて完全クリーニングする自動絨毯クリーニング装置を提供するものである。

以下本考案を図示した実施例に基づいて評述する。2は絨毯1の積み上げ装置で、ここに多数枚の未洗絨毯が積み上げられている。5は該未洗絨毯積み上げ装置より絨毯を繰り出すコンベヤー、4は繰り出された絨毯1に石鹼水を噴射するノズル、3は該コンベヤー装置5に連設され絨毯1の上面に摺擦する2本1組のブラッシロールで各組のブラッシロールの一方3aは反時計方向に、又他方3bは時計方向にというように互いに反対方向に回転してブラッシロール3aで石鹼水のかけられた絨毯の植毛を順方向に繰り出しながら同方向にブラッシングし、且つブラッシロール3bで植毛を逆方向からブラッシングして毛を逆立てながら洗滌する作用をなす。

斯る対のブラッシロールを複数組並設することによりブラッシング効果を一層高めること

ができる。6は石鹼水回収箱、7は該石鹼水回収箱6にて回収された石鹼水の貯槽、8は未使用石鹼水の貯槽であり、各貯槽7、8の石鹼水はポンプP1にて前記石鹼水噴射ノズル4に石鹼水を供給する構成となつている。9、10、11は縦方向に配列され互いに接して回転するゴムロールで、上記ブラシロール3でブラッシングされ予備洗滌された絨毯1はコンベヤ12を介してローラ9、10間を送り込まれ、中間ローラ10の外周面を密着巻回してロール11との接触間に入り込まれ、該下部ロール11の他の外周を巻回して前方に繰り出される構造となつている。

更に絨毯1が巻回されるロール10の外周部には清水噴射ノズル13及びブラシロール14、及び吸引箱15などの必要を洗滌装置が夫々設けられ、ここで絨毯1の主たる洗滌がなされる構造となつている。

即ち、絨毯1はロール10に密着して巻回するのでその周りで絨毯1の植毛及びその脱

目が内部まで充分開かれることとなる。

本考案装置はこの開かれた植毛の織目の内部に向けてブラッシングすると共に清水を噴射し、且つ、吸引箱15にて汚損と共に含浸された水を吸引する。又この吸引箱15内にはブラシロール15が組込まれた特殊な構造に設計され、このブラシロール15付吸引箱15により織目を開かれた絨毯1の植毛をブラッシングしながら、同時に吸引することにより、極めて効果的な洗滌効果を得ている。

又、下部ロール11の他の外周部にも清水噴射ノズル16が設けられロール11の周りで織目を広げられた絨毯1を更に洗滌するよう構成している。17は下部ローラ11に接し絨毯1を案内する自由ロールで支杆18に支持され、ハンドル19の輾軸を該支杆18にあてその輾進量により接触を調節している。19はロール9, 10, 11で主たる洗滌が行なわれた絨毯1を更に前方の仕上洗滌部及び脱水部に運搬するコンベヤーで、該コンベ

ヤー 19 上には更に前記した互いに逆回転の
対のブラシロール 20 及び清水噴射ノズル 23
が設けられ、最終的にシャワー洗滌及びブラ
ッシングされ次でプレスロール 21 に送られ
ここで充分脱水が行なわれる。22 は清水回
収箱で、清水貯槽 24 に回収され、ポンプ P2
で前記したノズル 13, 23 に清水が供給さ
れる。又このノズル 13 はエアーノズルに置
き換えて実施する機種もある。25 はプレス
ロール 21 の出口部に設けたブラシロールで
これは主としてプレスされ偏平となつた植毛
を正常に起立させる作用をなす。

斯くして、絨毯 1 は完全にクリーニングさ
れプレスロール 21 を出て、乾燥部屋へ送り
込まれ、自動的に乾燥されクリーニングを完
了する。

以上の操作を連続的に行ない、大量の絨毯
を短時間で、クリーニングすることができ。

以上の作用効果に併せ、本考案は対となつ
た互いに逆回転するブラシロールの使用、及

びロール10の周りで充分絞目を開かせ、該ロール10の外周に設けた洗滌装置で洗滌作業を行なわせる構造とにより、簡単な装置で、然も、洗滌効果が極めて良好なる自動クリーニング装置を提供できるものである。

4 図面の簡単な説明

図面は本考案の要部構成の実施例を説明する側面図である。

1・・・絞径、3, 14, 20・・・ブラシロール、9, 10, 11・・・洗滌ロール、14, 13, 15, 15'・・・洗滌ロール附属のブラシロール、清水又はエアーノズル、ブラシロール付吸引箱などの洗滌装置。

実用新案登録出願人 海 野 博 明

代 理 人 弁 理 士 中 畑 孝

